

2021年度 学校自己評価・点検

教育目標

つよく・あかるく・かしこい子の育成

- つよく … しっかりとした心と強い身体を持った子
- あかるく … 豊かな情操を持ち快活でおもいやりのある子
- かしこい子 … 物事のけじめがわかり主体的に行動できる子

重点目標

言葉を大切に作る

重点目標の達成評価

【A：達成されている B：ほぼ達成されている C：あまり達成されていない D：達成されていない】

	結果	理由
年少	B	フワフワ言葉、トゲトゲ言葉などの活動を通し、言葉への意識が出来るようになった。また、発表を通して伝える楽しさ味わっていた。言い方が強くなってしまったり、どんな場面でも返事が出来るようになることは、引き続きの課題である。
年中	B	日々の当番活動での発表では、状況が伝わるように言えるようになったり、自分の伝えたいことを発信する力が育った。また、なぞなぞや虫の本などを活用してクラスのみんなに紹介するなどの発信力も、ついてきた。今後は友達との関わりで、口調が強くならずに話せると良い。
年長	A	場面ごとにあった言葉遣いをしていった。発表する時も、具体的な内容で話すことが出来ていた。重点目標を“言葉”としっかり目標を持ったことで、子どもたちも保育者も意識して過ごすことが出来ていたと思う。

2021年度 学校自己評価・点検

学年目標の達成評価

【A：達成されている B：ほぼ達成されている C：あまり達成されていない D：達成されていない】

	評価項目	結果	理由
年少	園生活や基本的な生活の仕方が分かる	A	支度もおおむね出来るようになった。手洗い、マスクなどの生活習慣も身についた。
	心のやすらぎをもって行動する	A	クラスが安心できる場所になっていたこと、見通しを持って生活出来たことが安心感につながった。
	友だちや先生と遊ぶ楽しさや喜びを得る	A	年間を通して、遊びの時間を多くとったことで色々な遊びを楽しめた。自分の好きな遊びも沢山見つけることが出来、思い切り遊びこんでいた。
年中	園生活に必要な基本的な生活習慣やきまりを身に付ける	B	挨拶や話を聞く姿勢などは1年間意識して取り組めた。着替えの際、丁寧に畳む、身だしなみを整えるなどの姿勢は見られたが、途中で違うことに意識がいきってしまい、進まないことがあった。
	信頼感をもって自主的に行動する	A	次の活動の見通しを持って行動できるようになった。子ども同士で、声を掛け合いながら協力して取り組んでいた。
	友だちとの遊びや体験を楽しんで広げていく	A	自分が面白いと思ったことをクラスに向けて発信したり、集団遊びでルールを伝えあいながらみんなで遊ぶ楽しさを経験できた。又、課題活動と自由活動がつながり、遊びを発展していった。
年長	園生活に見通しをもって行動し、自らよりよい生活を営もうとする	A	時計を意識してしっかり行動することが出来ていた。又、1日の流れの予定や行事までの日数を数えるなど、先を見通す力がついてきた。
	自然や社会生活と関わり、感謝の念や規範意識を持って行動する	A	外部との直接的な関わりは少なかったが、小学生から頂いたおもちゃ等を大切にして遊ぶなど、愛着を持っていた。又、園外でも積極的に挨拶などをすることが出来ていた。
	自己を発揮し、友だちとの関わりを深めていく	A	自分の意見を言いながらも、相手の意見もしっかり聞き入れられるようになった。又、行事などを通して、クラスの絆や団結力が深まった。
	主体的に様々な環境に関わり、考え工夫し表現する	A	お別れ遠足では、その場にあるものだけで遊びを発展させるなど、日々の経験が活かされていた。又、一つの遊びを継続し、試行錯誤しながら繰り返し遊びこんでいる姿が見られた。

2021年度 学校自己評価・点検

今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
年少	来客への挨拶	先生たちへは繰り返し行うことで、出来るようになって来ている。誰に対しても行っていけるようにしていく
	椅子の座り方	背中をつけないことを指導してこなかったため、今後意識して取り組んでいく
	返事	出欠以外でも、名前を呼ばれたときにきちんとできるようにしていく。
年中	話し合い	グループで、何かを相談して決めるという時間を設ける。(2人→3人→4人と人数を増やしていく)
	返事	指示に対する返事が定着しなかったため、日々の生活でも意識して伝えていくようにしていく。
	制作遊び	色々な素材を用意して、その素材の特徴を活かした制作物などの見本を用意したりしていく。また、制作遊びの時間を設けるようにする。
年長	話し合い	段階を踏んだ話し合いを早いうちから、していくようにする。物を取りに行くときなども相談できるように環境を作っていく。
	清掃活動	園内をきれいにする日だけでなく、当番としての掃除を充実して行っていけるようにする。(当番表やカレンダーなども活用していく)
	幼少連携	年間計画を細かく作成しておく。(6月靴を履く時は座らずに立って履く、9月全員が時計を意識できるように出来るようにする)など、1年間の小学校へ向けた取り組み

2021年度 学校自己評価・点検

教育水準向上の取り組み

種類	具体的な内容	自己評価・点検
<p>幼児教育の内容・方法の改善として</p>	<p>音楽講師による定期的な音楽指導を行い、鍵盤ハーモニカや鈴、カスタネットといった子ども用楽器の他、子供用ではない楽器に触れたり音楽に親しむ教育を実施。 運動会で年長組は鼓笛隊演奏、年少組はリトミックを取り入れた演目を行う。 音楽会では、大きなホールを借りて、リズムあそびや合奏を行う。</p>	<p>継続して音楽講師に来ていただいているので、指導の連携がとれるようになってきていて、効率が高まっていると感じる。 また、やりたい楽曲や、教育上のねらいに合わせて様々な楽器を選択できるようになってきたので、無理のない指導に繋がっている。 音楽会は今年度も中央公民館で行い、本物の舞台・本物の音響・本物の照明・本物の客席の中で存分に表現することができていた。</p>
<p>幼児教育の内容・方法の改善として</p>	<p>グラウンドの他、天然芝生や起伏のある丘や雑木林といった多様なエリアを活用し、子供たちが運動や遊びを通して、体力を身に付けていくという教育活動を実施。</p>	<p>年少はキュウリ、年中はあさがお、年長はジャガイモを継続して観察したことで、植物への興味関心が特に高くなったと感じた。 外遊びは、今までは個人の好みに任せていたが、皆が芝生やみどりの丘といった複数のエリアを経験できるよう、意識した。芝生も大切に育めるよう、靴を脱いで遊ぶ・芝を抜かない・砂を掛けないなど丁寧に指導した結果、年間を通してよい状態をキープできたと思う。</p>

2021年度 学校自己評価・点検

学校関係者評価

- ・重点目標を定めて、1年を通してその目標に向かって進めていたことが分かってよい。
- ・具体的にどのような活動をしていたのかが分かるのとより良いのではないか。
→（園職員コメント）
今年度は、後半から活動の内容をHPに積極的に掲載するようしていた。
重点目標に対してはもちろん、5領域や10の姿などを指標として、どのようなねらいがあったか、や、成長が見られた点についてなどが園外に対しても明確に示せるようにしていきたい。
- ・コロナ禍においても、幼稚園という教育の場として十分な活動が制限されることなく行ってきることが分かった。
行事アンケートからも読み取れ、評価を受けていることは素晴らしいと感じる。
- ・行事アンケートからは、保護者の方が各行事の園の対策に理解を示していて、感染対策に協力的である様子も知ることができて、安心できた。
- ・「今後取り組むべき課題」として挙がっている項目が、返事や話し合いなど社会生活を送るうえで重要な項目であり、小学校進学前から意識されている点が評価できる。ぜひ達成できるよう進めていってほしい。
- ・教育水準向上の取り組みについては、創立以来毎年公民館で音楽会を開いていると聞き大変驚くとともに、その高い教育意識が素晴らしいと感じた。
また、みどりの丘や芝生といった自然豊かな環境を継続しようとする取り組みは園の魅力今後も続けてほしい。

実施日：2022/3/25